

【障害者週間】東欧音楽家支援 日本・ブルガリア・ポーランド文化交流演奏会 東日本大震災チャリティーコンサート  
国際親善交流特別演奏会 INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL

東京  
芸術  
劇場

日本・ブルガリア国交再開55周年記念  
日本・ポーランド協会設立記念

# International Music Festival

国際親善交流特別演奏会

Tokyo  
Performance  
27<sup>th</sup>

ソプラノ アレクサンドラ・オルチック  
Soprano: Aleksandra Olczyk

及川光悦 指揮  
Mitsuyoshi Oikawa Conductor

ピアノ ナデジダ・ツァノヴァ  
Piano: Nadejda Tzanova

モーツァルト作曲：モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」K.165 MOZART: MOTETTE 《EXSULTATE, JUBILATE》 K.165

◆ アレクサンドラ・オルチック ALEKSANDRA OLCZYK ◆

グリーグ作曲：ピアノ協奏曲 イ短調 作品16 GRIEG: PIANO CONCERTO IN A MINOR, op.16

◆ ナデジダ・ツァノヴァ PIANO: NADEJDA TZANOVA ◆

シューベルト作曲：交響曲 第7番 口短調 D.759 《未完成》 SCHUBERT: SYMPHONY NO.7 IN B MINOR, D.759 《THE UNFINISHED》



2014. 11. 7 金 開演18:30 (開場18:00)  
全席指定 S: ¥6,000 A: ¥5,000 B: ¥4,000

東京芸術劇場コンサートホール(池袋西口) 東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111(代)

6:30 p.m. FRIDAY, NOVEMBER 7, 2014, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE

演奏：モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団 Mozart Virtuoso Festival Orchestra

お問い合わせ・チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325 東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296

主催：国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会 TEL/FAX 03-3442-2325

後援：外務省・文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社 日本・ブルガリア共和国大使館 日本・ポーランド大使館 東京芸術劇場コンサートホール

特別協賛：meiji 株式会社 明治 富士ゼロックス株式会社 みずほ証券

協賛：Etsu 信越化学工業株式会社 三菱電機株式会社 協和発酵キリン株式会社 株式会社 東芝

協力：サッポロビール株式会社 日本コカ・コーラ株式会社 メルシャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。

※障害者、養護施設、母子家庭、大震災避難者の方々を御招待致します。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

## 及川光悦 指揮 Mitsuyoshi Oikawa Conductor

1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されバリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてピエール・デルボー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国。故岩城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学。小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、チェレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、バリオペラ座、バイロイト音楽祭、ペローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。1983年8月帰国。ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「Jウェーブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルティナーフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「モスクワ放送交響楽団」、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリフィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）・中国電影楽団にて日中交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国

立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育省の後援のもとでフランス・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノクシンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトウール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月日本、ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女士と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。

2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。

2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。

2011年10月、ポーランド（ピゴドシチ）ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。

2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。10月～11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。

2014年7月、ルーマニア政府より文化功績勲章を受章する。

## アレクサンドラ・オルチック ソプラノ Aleksandra Olczyk

Piotrkow Trybunalski (ピョトルクフ・トリブナルスキ市) で1990年5月14日に誕生。彼女の音楽教育は、故郷のI. J. パデレフスキという名の音楽学校でBlazej Dzlomdziora (ブワジェイ・ジヨムジヨラ) のピアノ・クラスから始まった。アレクサンドラは少女時代より、ポーランド国内と欧州全域で歌っている。パチカンでは2度にわたり、法王ヨハネ・パウロ2世と彼の後継者であるベネディクト16世のために歌った。10代にしてすでに多くの国内声楽コンクールで優勝している。現在は、ピドゴシチのF.Nowowiejskiego (F・ノヴォヴィエイスキ) 音楽アカデミーの声楽演技科の修士課程に学ぶ学生で、Magdalena Krzyńska - Pielat (マグダレナ・クシンスカ・ピエラト) 教授に学んでいる。また、Stefania Toczyska (ステファニア・トチスカ) Piotr Bednarski (ピョトル・ベドナルスキ)、Olga Pasiecznik (オルガ・パシェチュニク)、Jagna Sokorska-Kwiki (ヤグナ・ソコルスカ・クウィキ) などのマスタークラスにも参加した。第5回オペラ音楽&ミュージカル全国大会での3位入賞をはじめ、数々の特別賞を受賞。ポーランドのWloclawek (ヴウォツワヴェク) で行われた第3回イタリア・オペラ「ベルカント・バー・サンブル・ラ・スカラ」フェスティバルで優勝したほか、Clechocinek (チェホチネク) 市で行われたコンサートでは市長賞やウィーン来賓賞など多くを受賞。在学のかたわら、彼女はポーランド及び外国で舞台上に立つ。2010年のウィーン・クリスマスキャロル・コンサートでは、ウィーン国立歌劇場のソリストであるJanush

Monarcha (ヤヌシュ・モナルハ) と共演した。2011年の「バートハースフェルト音楽祭」(ドイツ)にも参加した。また、2012年、2013年にはポーランド国内の数多くの有名なオペラ祭やオペレッタ音楽祭で歌った。例:Krynica-Zdroj (クルイニツァ・ズトルイ) での第47回ヤン・キープラ音楽祭、第14回Clechocinek (チェホチネク) オペラ&オペレッタ・フェスティバル、Uniejow (ウネユフ) のテルマ・ムシカ音楽祭、ピドゴシチのボメラニアン・フィルハーモニック・カーニバル・コンサート (2012、2013年) など。

ほかには、トルンのアートス・コートにおけるニューイヤー・ガラ・コンサートにも出演した。また、キープラ「クラクフ」ヨーロッパ音楽祭や、第5回オペラ音楽&ミュージカル全国コンクール入賞者ガラコンサートその他にも出演している。また、ピドゴシチで行われた「青少年フォーラム」でのオペラ「乞食学生」にローラ役で出演した。

また、次のオーケストラと共演している、ポーランド・オペラ室内管弦楽団、シレジア交響楽団、シュトラウス・オーケストラ「オブリガート」、音楽劇場管弦楽団、また、カジミエシュ・ピンセック、イェジー・スウォボダ、ミロスラフ・ヤツェク・ブワシュチック、イェジー・ソベンコ、ミカル・コチムスキ、ジークフリート・ハインリッヒ、ヴォイチェフ・クロロップなどが指揮をしたシュトラウス・アンサンブルでも歌っている。

アレクサンドラが出演したコンサートは、地域テレビ局、TRWAMテレビ及びテレビ・ポロニアで放送された。

## ナデジダ・ツァノヴァ ピアノ Nadejda Tzanova

ブルガリア生まれ。5歳からE.ユリアノヴァのもと、芸術学校で音楽教育を受ける。2005年「パンチョ・ヴラディゲロフ」国立音楽学校に入学し、S.ディミトロヴァ・マイストロヴァやI.チェルナエフの教えを受ける。2011年に卒業し、ピアノ専攻でマスターの学位を取得。同年、ベルギー・ブリュッセルの国立音楽学校でB.ヴォデニチャロフのもと、より専門的に学び始める。ナデジダ・ツァノヴァはM.クルデリ(ドイツ)、V.シカルバ(ロシア)、P.マンゴヴァ(ブルガリア)、B.ヴォデニチャロフ(ベルギー)、M.モレッティ(イタリア)、D.バシキロフといった教授たちのマスタークラスにも参加。ブルガリア国内外で、3度のグランプリ、4度の第一賞、3度の第二賞、4度の第三賞、4度の特別賞を含む20以上の賞を獲得。受賞大会:「シューベルト音楽コンクール」(ルセ)、「ドイツとオーストリア音楽コンクール」(ブルガス)、「クラシックとモダン」音楽コンクール(スタラ・ザゴラ)、「若手ヴィルトゥオーゾ」音楽コンクール(ソフィア)、「音楽と地球」音楽コンクール(ソフィア)、「有望な若手とマスター」音楽コンクール(ドブリチとアルベナ)、「ザイラー」音楽コンクール(ブルガリアとギリシャ)、「ヴァレンティーン・ブキ」音楽コンクール(イタリア)、「S.プロコフィエフ」音楽コンクール(ウクライナ)、2013年「フレーム」音楽コンクール

(パリ)で第一賞受賞。出演した音楽催し:「ピアノニッシモ」(ブルガリア)、「アポロニア」(ブルガリア)、オーストリア音楽月間(ブルガリア)、第4国際フェスティバル「ボサ・アンティカ」(イタリア)、モーツァルトム(ザルツブルク) 受けた奨学金:「ブルガリアの天才」、トドロフ社、グロブル社、「ブルガリアの友人」、ソルティ基金(ベルギー)

P.ヴラディゲロフ氏の生誕110周年及びソフィア・フィルハーモニー交響楽団の創立80周年を祝う特別公演では、チェコのM.クレベトコ指揮でチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を演奏。

ソリストを務めた楽団:アカデミック交響楽団、P.ヴラディゲロフ楽団、シンフォニエタ・ソフィア、ソフィア管弦楽団、ブルガリア国営放送交響楽団、ハルキウ(ウクライナ)管弦楽団など

その他、イタリアやベルギー、ドイツ、スペイン、ポルトガル、ウクライナ、ハンガリー、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、イタリア・サルデーニャにて演奏。また、テレビやラジオ番組にも出演。